

平成29年度 基本事業評価シート（平成28年度実績評価）

政策 02 健やかに暮らせるまち
施策 03 障がい者（児）福祉の推進
基本事業 03 福祉施設サービスの充実
主管課： 社会福祉課
関係課：

1 基本事業の目的

対象（誰、何を対象としているか）	意図（どのような状態にしたいのか）
障がい者（児），療育が必要な児童	障がい者（児）が，通所施設や入所施設で，状態に応じた専門的な指導・訓練を受けながら生活できるようにする。

2 基本事業の成果状況（意図の達成度を図る成果指標とその動向）

施設通所者数		(人) 社会福祉課			
基準値 (H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H33)
401.00	461.00	529.00	580.00	630.00	783.00
向上指針	上がると良い	(状況) 前年度と比較して，数値が68人向上しています。 (理由) 施設通所者は年々増加傾向にあります。近年は，一般就労に至らない障がい者が就労を目指して訓練をするために施設を利用するケースが多くなっていることや，障がい福祉サービスが認知されてきていることが主な原因となっています。			
対前年度	向上				
目標達成度	中				
次年度課題	課題とする				

施設入所者数		(人) 社会福祉課			
基準値 (H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H33)
41.00	41.00	46.00	44.00	42.00	37.00
向上指針	下がると良い	(状況) 前年度と比較して，数値が5人増加しています。 (原因) 国の方針では地域移行が必要となっていますが，市内のグループホームで入居の対象としているのは，主に精神障がい者であり，施設入所者の多くは重度の知的障がい者です。そのため，グループホームへの移行は難しく，自宅での生活が可能な状況にある障がい者も少ないことから，基本的には数値変化が少ない状況が考えられます。			
対前年度	低下				
目標達成度	低				
次年度課題	課題とする				

基準値 (H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H33)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

基準値 (H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H33)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

基準値 (H26)	H27年度	H28年度	H29年度	H30年度	目標値 (H33)
0.00	0.00	0.00	0.00	0.00	0.00
向上指針					
対前年度					
目標達成度					
次年度課題					

3 基本事業に係るコスト（単位：千円）

	H26年度 決 算	H27年度 決 算	H28年度 決 算	H29年度 予 算	H30年度 見 込
事業費合計	646,938	731,060	803,229	830,762	830,762
人件費	0	0	857	0	0
トータルコスト	646,938	731,060	804,086	830,762	830,762

4 基本事業の推進状況と課題

前年度の取組内容、成果及び次年度以降に向けた課題

成果指標である施設通所者数は、順調に推移しています。福祉施設入所者については、国の方針では地域移行が必要となっていますが、入所者の多くは重度の障がい者であり、自宅での生活が可能な世帯状況にある障がい者は少ないものと考えられるため、その受け皿となる民間事業所によるグループホームの確保に努めます。	推進状況	一部停滞あり
	次年度への課題	課題あり
	成果方向性	向上
	コスト方向性	増加

5 基本事業を構成する事務事業の評価

[illegible]